

千波湖の水辺環境

ここの斜面は自然がそのまま残された水辺環境です
崖を観察すると湧き水の流れを見ることができます

ここ千波湖の斜面は、自然環境がそのまま残された大変貴重な場所です。崖を下層から見てみると、黒っぽい硬い層は堆積岩の水戸層（泥岩）と称する基盤となっている地層です。その上にレキ（小石）や砂などが混じり合った上市レキ層があおい、上市レキ層と水戸層の間から地下水が湧き出しています。

湧き水は、雨水などが台地に浸透して地層の中を流れ、長い年月を経て斜面から湧き出します。千波湖の水は、この湧き水と桜川などの水（表流水）により形成され、水辺環境を育んでいます。千波湖周辺の水辺は、多くの生き物が生息する自然豊かな場所となっています。

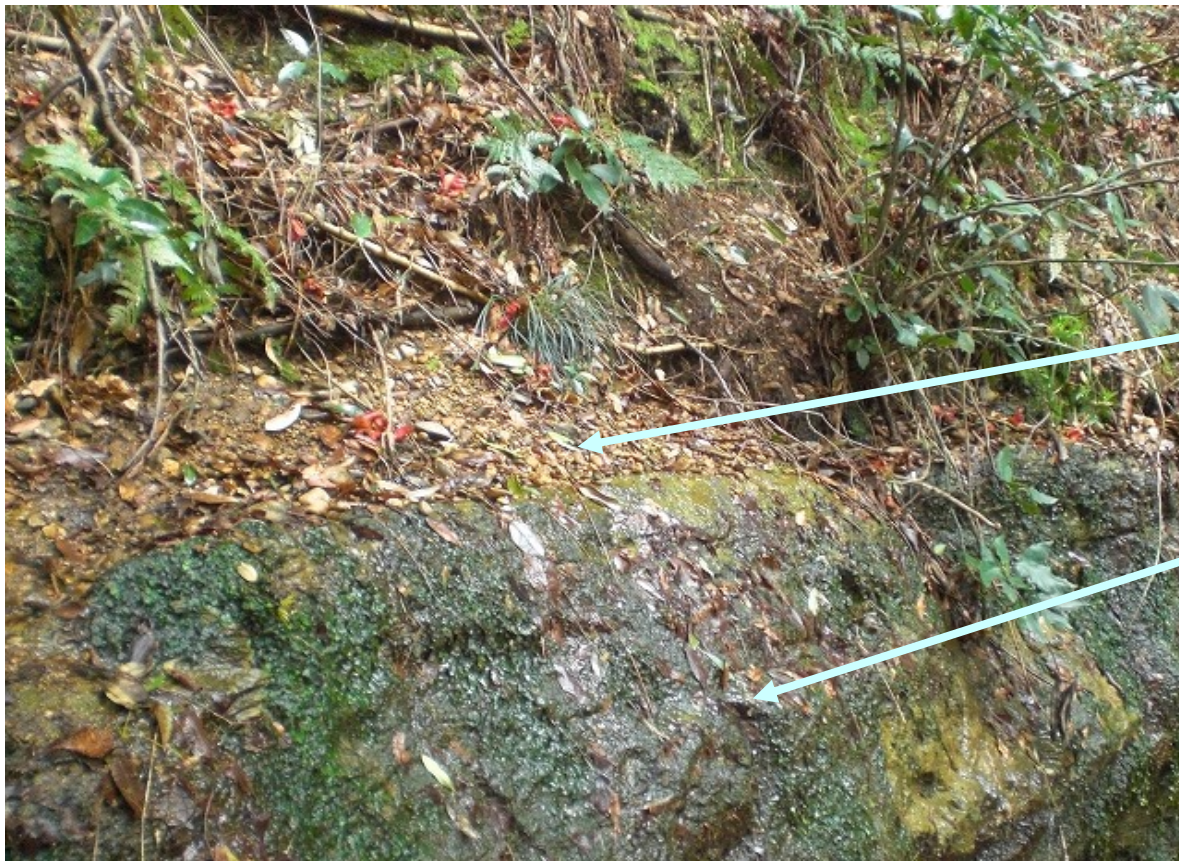
水戸市は、先人達から伝えられたこれらの水辺環境を『水と緑をはぐくみ 豊かな環境を未来へ引き継ぐまち水戸』として守り育てています。

水戸市環境課
水戸市環境保全会議
(財)水戸市公園協会



設置した看板

地層から湧き水が観察されます



上市レキ層

水戸層 (泥岩)

明りように地層の境界を観ることが出来ます



わき水

境からは地下水が湧き出し流れ落ちています